

## I 平成 27 年度 事業報告

### 1 調査研究並びにその成果の公表及び政策提言事業（決算額 54,838,763 円）

#### (1) 受託研究事業

愛媛県、大洲市ほか公的団体からの委託を受け、地域政策に関する 11 件の調査研究を実施した。

| 受託研究事業名                       | 委託元             |
|-------------------------------|-----------------|
| 地域づくり協働体構築サポート事業（大洲市 正山地区）    | 大洲市             |
| 地域づくり協働体構築サポート事業（愛南町 緑地区）     | 愛南町             |
| 集落間情報交換・ネットワーク構築事業            | 愛媛県（地域政策課）      |
| 愛媛県の名勝候補地調査補助業務               | 愛媛県（文化財保護課）     |
| 企業等の連携による社会貢献活動促進事業           | 愛媛県（男女参画・県民協働課） |
| 東予の誇れる産業遺産ガイドブック作成等業務         | 愛媛県（東予地方局）      |
| 八幡浜シニアタウン構想に係る調査研究業務          | 八幡浜商工会議所        |
| 八幡浜人口ビジョン策定支援業務               | 八幡浜市            |
| 別子山の将来をみんなで「語り」「描き」「創る」プロジェクト | 別子校区連合自治会       |
| 空き家利活用促進事業                    | 愛媛県（地域政策課）      |
| 移住ジャスト・マッチング・システム構築事業         | 愛媛県（地域政策課）      |

#### (2) 自主研究事業

人口減少問題などの地域の政策課題について自主研究を行い、その内容を機関誌「ECPR」に掲載している。

| 調査研究名                                    | 掲載時期          |
|------------------------------------------|---------------|
| 民泊を核とした修学旅行誘致 (ECPR vol. 36 )            | 平成 27 年 9 月掲載 |
| 世代を繋ぎ、地縁の輪を広げる地域づくり (ECPR vol. 37)       | 平成 28 年 3 月掲載 |
| エネルギー利用の動向と将来に向けての課題について (ECPR vol. 37 ) | 平成 28 年 3 月掲載 |
| 愛媛県の市町別人口移動データ資料作成 (ECPR vol. 38 掲載予定)   | 平成 28 年 3 月作成 |

#### (3) 情報サービス事業

##### ① 調査研究情報誌「ECPR」の編集・発行（各 1,700 部）

「ECPR」を発行し、特集テーマについて、研究者の論説、現状分析等の情報を提供した。Vol. 36

は、「地域の自然を守り、地域づくりに活かす」と題して、コウノトリの野生復帰と無農薬のコメ栽培が上手く結びついて、地域経済にも好影響を与えている事例などを紹介した。

また、Vol. 37 は、「国際交流と地域づくり」をテーマに、海外での学習や留学生の受入れを通じた大学での国際理解促進や市町における地道な国際交流への取り組みなどを紹介し、地域における国際化について今後どう進めていくべきかを探った。

| 番 号     | 特集テーマ              | 発行           |
|---------|--------------------|--------------|
| Vol. 36 | 地域の自然を守り、地域づくりに活かす | 平成 27 年 10 月 |
| Vol. 37 | 国際交流と地域づくり         | 平成 28 年 3 月  |

## ② 情報誌「舞たうん」の編集・発行（各号 3,000 部）

愛媛県市町振興協会からの委託を受けて、地域づくりに関する事例や最新情報、センターの業務などを紹介する地域づくりネットワーク情報誌「舞たうん」を年 4 回発行し、会員や県内外の地域づくり関係者に配布した。

| 番 号      | 特集テーマ                  | 発行           |
|----------|------------------------|--------------|
| Vol. 124 | 地域と移住者をつなぐ移住支援団体       | 平成 27 年 4 月  |
| Vol. 125 | 特区認定「どぶろく」の製造を通じた地域おこし | 平成 27 年 7 月  |
| Vol. 126 | えひめの婚活事情               | 平成 27 年 10 月 |
| Vol. 127 | 次世代につなぐ農地の維持保全         | 平成 28 年 1 月  |

## ③ 「えひめイベントBOX」の編集・発行（3,200 部）

愛媛県市町振興協会からの委託を受けて、地域におけるイベントを市町単位で紹介するイベント情報誌「えひめイベントBOX」を発行し、会員、マスコミ、観光関係者等に配布した。

| 名 称                | 内 容                                | 発行          |
|--------------------|------------------------------------|-------------|
| えひめイベントBOX<br>2015 | 各市町のイベントの年間予定を紹介<br>特集「ようこそ！ 特産市へ」 | 平成 27 年 4 月 |

## ④ インターネット等による情報提供・発信

地域政策、まちづくり、地域づくり団体等に関する各種情報を収集・整理・データベース化し、各種媒体を通じて会員等に提供するとともに、センターの業務内容を紹介するため、インターネット上にホームページを運営し、各種情報を広く一般に提供した。

## ⑤ 出版書籍の販売

○ 発行した書籍のうち、在庫切れ等のものを除き、引き続き販売を行った。

| 書籍名         | 発行年          |
|-------------|--------------|
| 「えひめの近代化遺産」 | 平成 25 年 10 月 |

## 2 意識啓発及び人材養成事業（決算額 2,737,090 円）

### (1) 政策研究セミナー等の開催

時流に即した情報を提供する「政策研究セミナー」、地域課題に関して講師を交えて話し合う「地域課題研究サロン」を開催した

- 政策研究セミナー（平成 27 年 9 月 8 日開催）メルパルク松山（参加者 67 人）

「地域外からお金を稼ぎ循環させるまちづくり」

講演：岡山大学 大学院教授 中村 良平 氏

パネル：「県内産業の取り組み事例を基にまちづくりを考える」中村良平氏、近藤聖司氏、大津清次氏、加藤龍彦氏

- 地域課題研究サロン

県内の近代化遺産について、その普及啓発と活用を図るため、見学ツアーを実施した。

講師：岡崎 直司 氏（近代化遺産活用アドバイザー）

近代化遺産をめぐるまち歩きツアー 八幡浜編（参加者 15 人）

平成 27 年 7 月 19 日（日） 白石和太郎館～菊池清治邸～第一防空壕など

### (2) 地域づくりフォーラム、ミニフォーラムの開催

えひめ地域づくり研究会議及び地域づくり団体との共催により、各地域で地域づくり・まちづくりを考える年次フォーラム及び地域ミニフォーラムを開催した。

- えひめ地域づくり研究会議 年次フォーラムの開催

平成 28 年 1 月 23 日（土）（参加者 66 人）

「人口減少時代の地域づくり」をテーマに開催（えひめ共済会館）

講師：関司直也 法政大学准教授

- 東予地区ミニフォーラム

平成 27 年 10 月 31 日（土）（新居浜市 別子山公民館）（参加者 25 人）

「東予地域ミニフォーラム in 別子山」（新居浜市 別子山公民館）

講師：若松進一氏、(株)梅錦山川・山川浩一郎氏

- 中予地区ミニフォーラム

平成 27 年 11 月 14 日（土）（松山市 愛媛大学法文学部棟）（参加者 35 人）

「人口減少時代を生きる・若者によるふるさとづくり」

講師：山口信夫 氏（愛媛大学法文学部 講師）×「元気ひろた」を考える会

- 南予地区ミニフォーラム

平成 27 年 10 月 25 日（日）（八幡浜市 道の駅みなと）（参加者 20 人）

「南予地域の課題の解決」

講師：濱田規史 氏×フィールドワーク

### (3) 地域づくりリーダー育成研修会（「地域づくり人養成講座」）

愛媛県から委託を受け、地域づくりの核となる人材を育成するため、県内から受講生を募集し、現地でワークショップを中心とした研修を行っている。27年度は「持続的な地域活動」をテーマに実施した。受講生 28 名。

| 開催時期         | 研修内容・開催地等                           |
|--------------|-------------------------------------|
| 平成 27 年 6 月  | 開講式・第 1 回講座「まちづくり総論」「持続的な地域活動」      |
| 平成 27 年 7 月  | 第 2 回講座「食と農の連携による持続的なにぎわい」（久万高原町）   |
| 平成 27 年 8 月  | 第 3 回講座「いりこ文化体験による情報発信」（四国中央市川之江地区） |
| 平成 27 年 9 月  | 第 4 回講座「地域問題に対する持続的な地域活動」（西予市遊子川地区） |
| 平成 27 年 10 月 | 第 5 回講座「地域貢献と持続的な地域活動」（内子町）         |
| 平成 27 年 11 月 | 第 6 回講座 受講生の自主研究発表会・閉講式             |

### (4) 地域づくりコーディネーター派遣事業

地域づくり団体等が行う自主的、主体的な地域づくりを支援するため、各分野の専門家・有識者を団体等に派遣し、助言・指導を行った。

## 3 活動支援及び交流促進事業（決算額 9,816,127 円）

### (1) まちづくり活動アシスト事業

まちづくりグループの活動を支援するため、創意と工夫に富み、地域の活性化に寄与するイベントや学習会の開催、広報資料の作成などに要する経費を助成した。（助成上限額：1 団体 200,000 円）

| グループ名               | 市町  | 活動内容                                          |
|---------------------|-----|-----------------------------------------------|
| 吉岡歩こう会              | 西条市 | 地域の史跡めぐりや手作りマップ作りを通じて、子供たちに地域の歴史や文化を学習の機会を作る。 |
| 元気な島づくり実行委員会        | 上島町 | 過疎に悩む高井神島で、クリスマスイルミネーションを飾り活力を取り戻す。           |
| 郡中まち元気推進協議会         | 伊予市 | 市中心部で、起業と雇用の創出のための検討会を実施し、経済の活性化を図る。          |
| NPO 法人 NEXTCONEXION | 松山市 | 子供に実社会の模擬体験をさせ、主権者意識と地元愛を向上させる活動              |
| 奥伊予ゆすかわ塾            | 西予市 | 地域の運動会に際し、鯉のぼりを設置し、地域の絆を高める。                  |

|          |      |                                   |
|----------|------|-----------------------------------|
| 檜谷棚田保存会  | 大洲市  | 棚田のパンフレット作成や写真展を行い、棚田の価値をひろく周知する。 |
| 岩松町並み保存会 | 宇和島市 | 岩松地区で物産展やどぶろく蔵出し市を開催し、商店街に活気を呼ぶ。  |

## (2) 地域づくり課題解決協働事業

地域住民が主役となる自主的・自立的な地域づくりを支援するため、地域住民、市町、団体等と協働して地域課題解決に向けた取組みを行った。

### ① 地域社会未来づくり協働会議

地域の様々な課題に対して、多様な主体がそれぞれの特性を生かして協働を進め、地域課題の解決に取り組んでいる。

平成 28 年 2 月 22 日（月）未来づくり協働会議開催 愛媛県総合社会福祉会館（参加者 18 人）

○ 参加団体：愛媛県、伊予銀行、愛媛銀行、JAえひめ中央会、コープえひめ、愛媛大学、愛媛新聞社、県商工会議所連合会、県公民館連合会など 15 団体

○ テーマ：『地域の活動を応援する価値と方法』

講師：藤原 明 氏（りそな総合研究所 リーナルビジネス部長）

### ② 地域おこし協力隊交流研修会

開催日：平成 27 年 9 月 17 日～18 日（金）

場 所：久万高原町 姫鶴荘、旧中津小学校（参加者数 34 人）

講 師：（株）森のともだち農園 代表取締役 森 智子 氏ほか

## (3) 地域づくり団体等研修交流会の開催

県内各地で活動している地域づくり団体等がより効果的な活動を展開できるよう、愛媛県ふるさとづくりネットワーク推進会議との共催により研修会を開催している。27 年度は下記のとおり開催。

開催日：平成 27 年 10 月 20 日（火） 松山市 コムズ （参加者 15 人）

テーマ：「お金の地産地消白書 2014 を読む会」

講演：（公財）あいちコミュニティ財団 代表理事 木村真樹

## (4) 移住・交流支援事業

### ①「愛媛ふるさと暮らし応援センター」（平成 19 年 9 月開設）の運営（専任職員 2 名）

都市から地方への移住交流を促進することにより、地域の活性化を図るため、「愛媛ふるさと暮らし応援センター」を設置し、専任職員 2 名を配置して運営した。

ア 移住希望者に対する移住先の斡旋及び市町への取次ぎ

イ 市町の移住者誘致の取組みに対する個別相談・助言

ウ 効果的な移住交流促進施策の具体化に向けた情報収集・分析業務

なお、27年8月から、県が東京に「移住コンシェルジュ（移住相談専門員）」を配置したことから、移住コンシェルジュとも連携しながら、専用窓口（ふるさと回帰支援センター内）での相談対応や移住フェア等での情報発信などを強化した。

## ② 移住・交流促進事業

県外フェアへの出展、えひめ移住支援ポータルサイト『e移住ネット』『えひめ空き家情報バンク』の運営、「おかえり愛媛通信」の発行などを行うほか、移住・交流学習会を開催して、相談窓口の機能強化と受け入れ態勢の充実を図った。（年間出展回数 12 回）

### 【出展した県外フェア】（実施順）

ふるさと回帰フェア（大阪）平成 27 年 8 月 22 日（土）

四国暮らしフェア（東京）平成 27 年 8 月 29 日（土）

ふるさと回帰フェア（東京）平成 27 年 9 月 13（日）

中四国もう一つのふるさと探しフェア（大阪）平成 27 年 10 月 24（土）

愛あるえひめ暮らしフェア（東京）（10 月、11 月、12 月）

移住・交流地域おこしフェア（東京）平成 28 年 1 月 16 日（土）

J O I N 移住・交流&地域おこしフェア（東京）平成 28 年 1 月 17 日（日）

えひめ職の担い手移住フェア（東京）（28 年 2 月に 3 回）

## ③ 空き家利活用促進対策事業 （再掲）

新たな移住者の掘り起こしを図るため、移住者呼び込みのツールとして空き家の利活用に向けた課題解決の調査研究を実施するとともに、空き家情報バンクを中心に県移住情報ホームページを拡充した。

## ④ 移住ジャストマッチングシステムの構築 （再掲）

移住者と地域のマッチング精度向上のため、移住者及び移住相談者の属性や希望など収集・データベース化し、得られたビッグデータを分析できるHP上のシステムを構築した。